

# 自然教室だより

辻本 信一

## 3月・春のならやま自然観察会報告

平成30年3月6日(火)、啓蟄のこの日、「ならやま」に息づく身近な植物の観察を目的に、今年度最後、今年初めての節目の自然観察会を私たちのホームグラウンド「ならやま」にて開催いたしました。参加者は16名。天候にも恵まれ、たくさんの方にご参加いただきました。

午前中は、「日ごろ足を踏み入れることの少ない里山林内を探索したい」との参加者のご要望にお応えし、ならやま里山に入山。鈴なりに花を咲かせた「アセビ」、赤みを帯びた独特の木肌の「シャシャンボ」、実生からしっかりと成長した「シリブカガシ」、更には開花間近の「クロモジ」など、樹木を中心に観察しました。



【集合写真】

うっかりしていると気がつかないところでしたが、散策路では冬眠から目覚めた「テングチョウ」が私たちを迎えてくれました。



【里山入山】

散策の途中、「タケノコ平」では、古川さまより名前の由来を説明いただき、竹林と格闘した開墾当時の苦労話もお聞きしました。



【冬眠から目覚めたテングチョウ】

また赤土が露出した通称「赤岳」南の松林では福田さまより「先日、松茸栽培のアドバイスにお越しいただいた藤本先生より、マツの生育状況、土壌、日当たりの面から、この地は松茸栽培に最

適とのお墨付きをいただいた」との話がご披露されました。

さらにこの後「実りの森」にも足を運び、紅梅、白梅の花の競演、ブルーベリーの挿し木を鑑賞。アツという間に昼食の時間を迎えました。昼食時には、西谷さまより味噌汁とぜんざいの振る舞いがあり、参加の皆さんも大満足でした。

昼からは、ベースキャンプ周辺の野草を中心に観察。昨年同様、群れて咲くオオイヌノフグリは夜空に輝く星のごとく、ホトケノザのすくっと立った蝶形の花の周りには赤いルビーのような輝きの閉鎖花が彩を添えます。

ベースキャンプ北側では、「フキノトウ」がしっかりと蕾をつけ春の訪れを告げていました。どの草花も可憐で、春の訪れとともに出会う彼ら(彼女ら?)に自ずと心が高揚します。



【フキノトウ】

さらに歩を進めた皇帝ダリア園では、最近特に川辺でよく見かけるようになった帰化植物「ヒメリュウキンカ」が光沢のある黄色の花を咲かせて



【ヒメリュウキン

おりました。きれいな容姿とは裏腹に繁殖力が強く、蔓延が危惧される植物の登場です。(かわいそうですが、早めに駆除しなければなりません。)

紙面に書き切れないほど話題満載でいろいろな意味で収穫いっぱいの観察会となりました。

いろいろな出会いのある自然観察会に皆さまも是非ご参加ください。



## 4月・春の奈良公園 桜見物のお知らせ

次回自然観察会は、昨年も好評を博した奈良公園での桜見物です。下記要領にて実施致しますので、皆さま、奮ってご参加ください。

1. 日 時：4月3日(火) 10:00~14:00 予定
2. 集 合：近鉄奈良駅、行基像前
3. 持ち物：弁当、飲み物、有ればルーペ
4. 観察ルート：春日野園地を中心に奈良公園内